

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	小名浜港津波・高潮影響評価検討業務
業 務 概 要	本業務は、小名浜港における気候変動への適応策の実装に向けて、気候変動を考慮した浸水シミュレーションを行い、背後地の安全や港湾機能、社会経済活動等に及ぼすリスク評価分析を行うものである。
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 小名浜港湾事務所長 新田 邦彦 福島県いわき市小名浜字栄町65
契 約 年 月 日	令和6年11月11日
契 約 業 者 名	パシフィックコンサルタンツ株式会社 福島事務所 所長 丹 収一
契 約 業 者 の 住 所	福島県郡山市中町15番9号
契 約 金 額	¥24,530,000 円(税込み)
予 定 価 格	¥24,739,000 円(税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり
業 務 場 所	ー
業 務 区 分	建設コンサルタント等
履 行 期 間 (自)	令和6年11月11日
履 行 期 間 (至)	令和7年3月21日
備 考	

備考

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。

随 意 契 約 理 由 書

1. 業務の名称 小名浜港津波・高潮影響評価検討業務

2. 契約業者名 パシフィックコンサルタンツ株式会社

3. 随意契約理由

本業務は、小名浜港における気候変動への適応策の実装に向けて、気候変動を考慮した浸水シミュレーションを行い、背後地の安全や港湾機能、社会経済活動等に及ぼすリスク評価分析を行うものである。本業務の契約手続きとしては、「プロポーザル方式」を採用することとし、公募により参加表明があった者の内で資格を満たした者から技術提案書を求め、「配置予定管理技術者の経験及び能力」「業務実施方針・実施フロー・工程計画等」及び「特定テーマに対する技術提案」について、提出された技術提案書の記載内容により評価を行った。

審査の結果、総合的に最も評価値が高位であるパシフィックコンサルタンツ株式会社を契約の相手方として特定した。

よって、会計法第29条の3第4項に基づき、特定した者と随意契約を行うものである。